

警察事務



秋田県警察本部
刑事部 鑑識課
指紋係 主事

経歴 採用13年目

H20年 警察本部 刑事部 鑑識課
指紋係
H19年 鹿角警察署 刑事課 庶務係
H18年 採用
鹿角警察署 生活安全課
生活安全係

ある日のスケジュール

7:40 出勤、メールチェック
前日発生した事件の確認
8:30 朝礼
9:00 指紋鑑定、各種照会への回答
書類作成
12:00 昼食
13:00 警察署依頼を受け、証拠物件
からの指紋検出対応
15:00 月報の作成
16:00 指紋鑑定、各種データの登録
17:15 業務終了
18:00 同僚と飲み会に参加



わたしの職場はこんなところですよ

警察本部鑑識課は、幅広い世代の職員が在籍しており、主に犯罪現場等における鑑識活動や警察犬の運用を行う警察官と、鑑識活動により採取された資料を鑑定する事務職員で構成されています。

わたしは今、こんな仕事をしています

指紋係を担当し、主に犯罪現場等で採取された指紋から、犯人の割り出しや犯行を裏付けるための鑑定業務を行っています。

指紋は、隆線という線状の皮膚が形成している紋様であり、その隆線が枝分かれしている等の特徴を利用して鑑定していますが、目視では非常に細かく見えづらいのでルーペを使用して鑑定します。ミリ単位の世界であり、非常に集中力と根気が必要な仕事です。

秋田県のここが好き！

秋田県の四季をはっきりと感じられるところが好きです。また、竿燈まつり、大曲の花火、横手のかまくらなど、四季折々に開催される祭りや行事も秋田の魅力の一つです。

警察事務職のやりがいはここ！

警察活動に必要な装備品調達や福利厚生を担当など、事務としてサポートする側の仕事も多くありますが、私が所属する鑑識課での鑑定業務や県内で発生した事件の情報分析を行う警察ならではの仕事もあり、事件解決に向けて警察官と共に社会正義のために仕事をすることができます。自分の鑑定が犯人逮捕の決め手となることもあるので、やりがいを感じて仕事をしています。

オフは、何をしていますか？

休日がないイメージがあるかもしれませんが(実際、私はそう思っていました)が、業務終了後に同僚や友人と食事に行ったり、休日は家族と外出したりと民間企業に勤務する方と変わりません。

警察では積極的な休暇取得が推進されており、私も休暇を取得して趣味であるプロ野球観戦と旅行をしてリフレッシュしています。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

試験対策として、それぞれの科目を取りこぼしなく勉強するのは難しいと感じたことから、苦手な科目があってもいいので、広い範囲を繰り返し勉強しておくことを心掛けました。

面接に向けては、話したい自分の考えを簡単に箇条書きして整理し、ポイントをまとめておきました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

警察事務は、魅力あるふるさと秋田の安全・安心を守る非常にやりがいのある仕事です。

ぜひ、私達と一緒に仕事をしましょう。

警察事務



秋田中央警察署
会計課
遺失物兼会計係 主事

経歴 採用4年目

H29年 秋田中央警察署
会計課 遺失物兼会計係
H27年 採用
秋田中央警察署
会計課 遺失物係

ある日のスケジュール

8:00 決裁書類準備
8:30 朝礼
9:00 遺失届・拾得届の審査
11:00 遺失・拾得物件のシステム
入力
12:00 昼食(弁当)
13:00 電話、来庁者対応
遺失届・拾得届の受理
15:00 支払事務処理
17:15 業務終了
18:00 帰宅、夕食準備



わたしの職場はこんなところですよ

秋田中央警察署は、県庁、市役所などの官庁街、県内最大の歓楽街である川反地区等秋田市の主要部を管轄する県内最大規模の警察署です。また、東北三大祭りとして有名な竿燈まつりも秋田中央警察署の管内で開催されます。

わたしは今、こんな仕事をしています

会計課に所属し、主に落とし物の届け出を受理したり、拾い物を預かったりする遺失物関係の業務と庁舎の光熱水費の支払事務を担当しています。

警察に届けられる落とし物は、鍵などの小物から携帯電話や財布などといった貴重品まで様々な種類の物が数多く届けられ、それら一つ一つの特徴をシステム入力していきます。持ち主にとっては大切な物であるという気持ちを忘れず、可能な限り持ち主に返還できるよう努力しています。

支払業務については、支払遅延や支払額を誤らないよう注意し、適正な処理に努めています。

秋田県のここが好き！

自然豊かで四季の移り変わりを身近に感じられるところです。

桜や紅葉の名所が多く、全国的にも有名な大曲の花火大会など全ての季節を満喫できる行事や観光地が数多くあるところが秋田の魅力だと思います。

警察事務職のやりがいはここ！

私は、遺失物係として電話や窓口などで県民の方々と接する機会が多くあります。落とし物を持ち主に返還できた際に持ち主の方から感謝の言葉をかけてもらったり、お礼の手紙をもらったりすることも多く、自分の仕事が秋田県民のために役立っていると日々実感することができ、非常にやりがいを感じています。遺失物だけでなく様々な業務に携わり、県のために働くことができるのも魅力です。

採用されてから、何か大変だったことはありますか？

当直勤務に慣れることが大変でした。事務職員も警察官とともに、夜間や休日に発生する事件事故に対応できるよう待機します。事件の相談や事故の届出を直接受けることも多く、最初は相談者から何を聞き取ればよいか分からず苦勞しました。今でも悩むことはありますが、ともに当直勤務に就く警察官にアドバイスをもらったり、上司に相談するなど、スムーズに担当への引継ぎができるよう努力しています。

警察事務職を就職先に選んだ決め手は？

県民の安全・安心な生活を守り、治安を維持するという民間企業や他の公務員にはない任務に非常に魅力を感じ警察事務を選びました。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

教養試験対策としては問題集をひたすら解き、間違えた箇所を教科書や参考書で調べてノートにまとめるということを繰り返し行いました。まとめたノートを確認することで自分自身の苦手な分野や科目を再認識することができ、効率よく試験対策ができたと思います。

また日頃から業務内容を詳しく調べたり、説明会に積極的に参加するなどして業務への理解を深めていたことが面接試験でも役立ちました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県民の生活をより良くしたり、暮らしやすい環境を整えていくことが県職員の使命です。警察事務もその使命を全うするため、様々な業務を通じて県民の安全と安心な暮らしを守るために日々努力しています。秋田県のために働きたいと強い意志のある方にはびっぴりの仕事だと思わずぜひ受験してみてください。